

平成30年度 当初予算要求事業内容説明書

9款 1項 3目

第3章 心豊かな人づくり、まちづくり

基本施策6 学力向上の推進

【会計】一般会計

施策1 確かな学力を定着させます

9款:教育費 1項:教育総務費 3目:教育研究指導費

事業	203	日本語適応指導事業
担当所属	指導課	

【予算額】

予算要求額	(財源内訳)				
	一般財源	国庫支出金	県支出金	地方債	その他特財
3,600千円	3,600千円				

【事業の概要】

事業の概要	帰国子女や外国人児童生徒の指導方法充実のため、学校に外国語の話せる日本語適応指導員を派遣します。
事業の目的	日本語指導が必要な児童生徒等の増加等を踏まえ、これらの児童生徒に対し適応指導・日本語指導を行うとともに、関係機関と連携し、受入体制を整備するなど、学校全体できめ細かな対応を図ることが重要です。本事業では、日本語指導が必要な児童生徒の学校生活への適応を図るとともに、外国における生活経験を生かしながら適切な指導を行うとともに、日本語の習得や教科指導、不適応の問題などに対応することを目的とします。
事業の効果	<ul style="list-style-type: none"> ・学習指導・生活指導の円滑化が図られるとともに、教育相談の効果が向上します。 ・日本語を理解できない保護者の学校理解にも役立ちます。

【予算額の節別内訳】

節	予算額	説明
8 報償費		
謝礼金	3,600千円	日本語適応指導講師料(720回分)
計	3,600千円	

【活動指標・成果指標】

指標名	平成30年度計画値
依頼に応じて派遣した指導員数	20人
本事業により日本語を習得することができた児童生徒の割合	100%
日本語適応指導事業を実施した学校数	実施が必要な学校数
日本語適応指導を受けた児童生徒数	指導が必要な児童生徒数
日本語適応の実施回数	800回
成果報告の割合	100%